

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	タイムゴールド	◎	前走フローラルカップで初めて馬券圏外に敗れたが、内でロスなく立ち回った馬が1～3着に入中、12番ゲートから終始外々を回されての4着。重賞でも十分に戦える能力を示した一戦だった。		
	2	ヒストリコ		新馬の函館ダート1000mは超低レベルな凡戦。出走したレースが異なっていれば、いまだに未勝利馬の可能性もあった。ダートグレードでは荷が重だろう。		
2	3	ファーストメロディ		キャリア1戦の身で挑んだフローラルカップでより2位をマークして6着に健闘。素質は高そうだが、ダートグレードで上位争いするのは新馬の走破時計から4秒くらい縮める必要があり、さすがにそれは現実的ではないか。		
	4	カジノティータ		低レベルな九州産馬。初ダートなので走ってみたいと分らないが、ダート適性があったとしてもここで上位争いするのは相当の実力が必要。おそらくそこまでの実力はないだろう。		
3	5	オスピタリタ		前走不ずらん賞は芝で参考外も2走前のターフチャレンジはいっぱいいっぱい粘り込んでの勝利。当時から大きな上積みは想像しづらく、持ち時計的に苦戦必至だろう。		
	6	レコードチェイサー	△2	久しぶりのダートでどこまで走るか未知数も、ダートでは【2.0.0.1】とまだ底を見せていない。角川厩舎-阿部騎手-グランド牧場のラインは、16年2着アップトゥユー、17年1着ストロングハートと同じ。控える競馬もできそうなので不気味な存在だ。		
4	7	スティールティアラ	△3	新馬圧勝後、フルールカップ5着、フローラルカップ2着と勝ち切れていないが、まだキャリア3戦の身でレースを覚えている段階といえそう。管理する角川厩舎は凱旋門賞のファール厩舎並みに毎年このレースで3着以内馬を輩出しており、人気をそこそこ集めそうだが、ブランド力だけで警戒しておきた能力的に厳しいかもしれないが、差して勝っているのは好感。地方に向いていそうな血統でもあり、押さえておいて損はないだろう。		
	8	ケイゴールド	×2			
5	9	シェリーアモール		重賞では栄冠賞6着、フルールカップ8着、フローラルカップ3着とやや荷が重い印象。前走フローラルカップは展開に恵まれての好走。1200mの激流では粘り込めるほどの力はないのでは。		
	10	グレイアンジェラ	×1	レースがまだ粗削り。前走フローラルカップでは4-7-11-8の通過順を見ても分かる通り、まともなレースをしておらず、それでも終いはそこそこ伸びていたため、能力自体は高いと見てよさそう。吉原騎手が上手く捌いてくれば、上位進出しても不思議ではないか。		
6	11	エムティアン	△1	ダートで敗戦を喫したのは前走のみで、その前走は新人の落合騎手がほかの牝馬に騎乗している騎手よりも1キロ重い斤量を背負っての2着（通常であれば、斤量2キロ減）。レース内容的にも終始勝ち馬エムオータイショウにマークされる厳しい展開だった。重賞でも通用する下地はある。		
	12	キスミーローズ	×3	逃げる競馬しかしていないので控える形になってどこまで走れるか未知数も底を見せていないのは事実で、角川厩舎なら押さえておきたい。		
7	13	レスプレジデント		近2走はリリーカップ6着、フローラルカップ5着と完敗。本質的に1200mは短いのでは。		
	14	パレスラブリー		フルールカップ、リリーカップともにアークヴィグラスに完敗。堅実に走ってきそうだが、相手はさらに強くなるので馬券圏内までの好走は難しいのでは。		
8	15	デンバーテソーロ	○	前走は超ハイレベルレースで出走馬のその後の成績を見ると、すでに4頭が未勝利を脱出。デンバーテソーロは2着スマートスリロス以下に完勝しており、能力は2年前に同レースを圧勝したリエノテソーロ級かもしれない。被されない外枠を引けたので、能力通りに走る可能性は高そう。		
	16	アークヴィグラス	▲	ここに来てフルールカップ→リリーカップと重賞連勝。馬自身がレースを覚えてきた感じで、特に前走リリーカップは馬群の間から差す味のある勝ち方。正直、立ち回りを生かすには内枠の方が良かったが、決して外枠がダメなコースではないので、枠順だけで大きく割り引く必要はないだろう。		